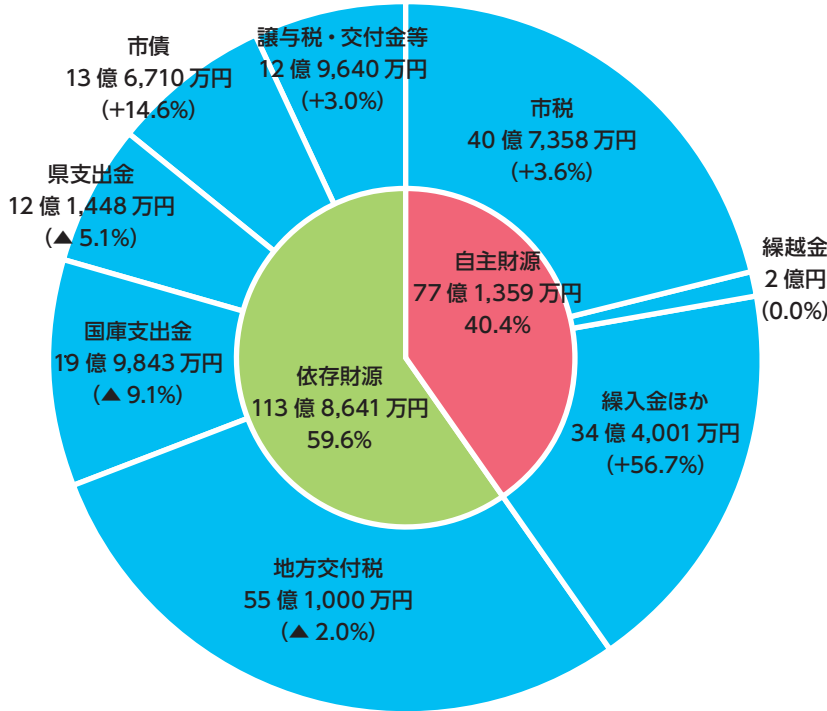


令和6年度

行方市の当初予算

【問い合わせ】財政課（麻生庁舎）
☎0299（72）0811

一般会計の歳入



※ () は、前年度比

※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

令和6年度一般会計予算は 191 億円

令和6年度行方市当初予算が、令和6年第1回行方市議会定例会で可決されました。令和6年度の一般会計予算については、社会保障関係費の増大、公共施設等の老朽化など全国的な課題に対応しつつ、本市の重点課題である通学路や高速道路アクセス道路などの幹線道路整備、東関東自動車道の行方PA（仮称）に隣接する地域振興施設整備、学校跡地構造物の撤去等について、合併特例債などを活用しながら推進するとともに、大規模な公共構造物の整備更新費用、自治体DX関連経費の増加および原油価格・物価高騰に伴う燃料費、光熱水費などの経常経費の増加による予算の確保を行いました。

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた令和6年度の予算総額は、312億8144万円となりました。

歳入

自主財源は77億1359万円（40.4%）、依存財源は113億8641万円（59.6%）となっています。

自主財源のうち市税は、物価高などの影響による景気の悪化や家屋の評価替えおよび再生可能エネルギー発電設備の減価償却による減少を考慮し、また市たばこ税の取り扱い事業所の増加を見込み、1億4003万円（前年度比+3.6%）増の40億7358万円を見込んでいます。

依存財源のうち地方交付税は、市税・各種交付金の増額が想定されることから、1億1000万円（同▲2.0%）減の55億1000万円を計上しました。国庫支出金については、大規模改修工事に伴う補助金の減額を見込み、2億92万円（同▲9.1%）減の19億9843万円を計上しました。

歳出

義務的経費のうち人件費は、会計年度任用職報酬等の増額により1億6401万円（前年度比+5.9%）増の29億3951万円を計上しました。扶助費は、生活保護費等の増加により3186万円（同+1.0%）増の30億9480万円を計上しました。

投資的経費のうち普通建設事業費等は、大規模公共構造物の整備更新費用等の減額に伴い、8824万円（同▲3.7%）減の22億8799万円を計上しました。

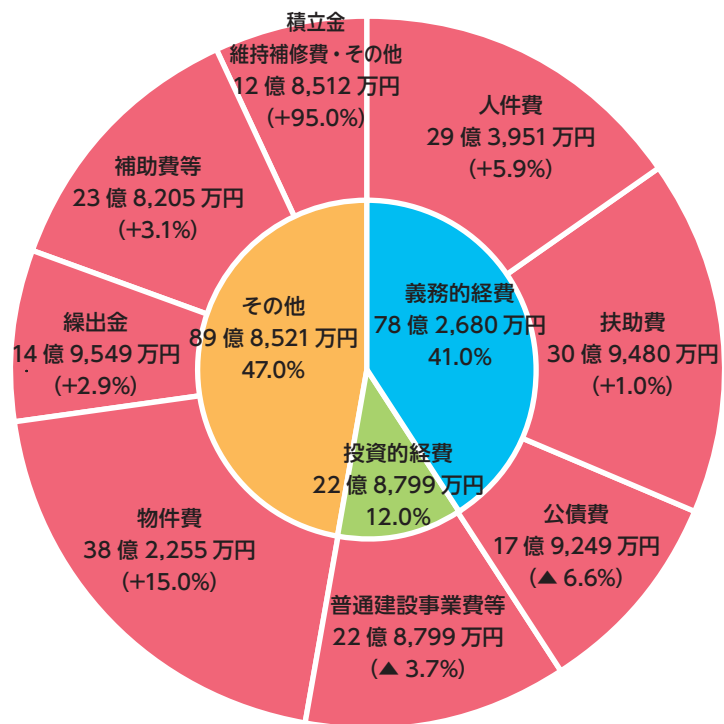
物件費は、各種業務委託料の増額およびふるさと応援寄附金募集事業費の増加を見込み、4億9994万円（同+15.0%）増の38億2255万円を計上しました。

補助費等は、土地改良施設維持管理適正化事業補助金等が増加することから、7067万円（同+3.1%）増の23億8205万円を計上しました。

令和6年度 行方市の主な事業

総務部	
消防団設置事業	1億5,449万8千円
地域防災力の維持・向上のため、消防団員の処遇改善を図り、まちの安全安心を確保する。	
D X推進事業	7,522万3千円
デジタル技術の活用により、市民生活の利便性を向上させるとともに、行政事務の効率化を図る。	
企画部	
公共交通運営事業	1億2,142万6千円
「市民のニーズにあった公共交通の実現」を目指して、地域公共交通事業に取り組む。	
東関東自動車道地域振興施設整備事業	2,003万3千円
行方PA（仮称）設置に併せて、道の駅機能を持つ地域振興施設を隣接地へ整備し、地域振興を図る。	
市民福祉部	
障害者福祉サービス事業	9億2,932万2千円
自立した生活ができるよう、障害福祉サービス等による支援体制を強化し、社会参加しやすい環境づくりを推進する。	
こども家庭センター事業	2,365万8千円
妊娠期から子育て期の包括的な相談支援体制を構築し、切れ目なく漏れなく誰ひとり取り残さない支援をする。	
予防接種事業	8,463万8千円
新たに带状疱疹予防接種に要する費用の一部助成をすることにより、市民の公衆衛生の向上を図る。	
建設部	
幹線道路整備事業	1億8,580万円
国道や県道等の広域幹線道路と接続する幹線市道の整備により、交通の円滑化や地域間の連携強化を図る。	
道路維持補修事業	2億8,215万2千円
道路等を良好な状態に保つよう維持・修繕し、安全な交通環境の確保に努める。	
経済部	
農業振興事業	3,153万8千円
本市の基幹産業である農業を持続可能な産業として確立していくために、時代に即した農業振興策を推進する。	
ブランド戦略事業	1億2,936万2千円
地域資源（農畜水産物）のブランド化を戦略的に展開し、知名度の向上と更なる価値の創出により、地域経済の活性化を図る。	
教育委員会	
国際教育推進事業	5,890万3千円
外国の学校や文化との交流、A L Tを活用した事業を実施し、国際社会でグローバルな視野をもつ資質・能力を育成する。	
水道	
施設整備・受託工事業	4億2,347万8千円
大規模地震などの災害時における断水被害の影響を最小限に抑えるため、耐震化対策や老朽化対策などを図る。	

一般会計の歳出



※（ ）は、前年度比 ※数値は、表示単位未満を四捨五入しています。

特別会計予算

区分	予算額
特別会計合計	92億5,150万円
国民健康保険	47億6,700万円
介護保険	39億4,350万円
保険事業勘定	39億4,300万円
介護サービス事業勘定	50万円
後期高齢者医療	5億4,100万円

公営企業会計予算

区分	予算額
公営企業会計合計	29億2,994万円
水道事業（支出額）	14億8,600万円
下水道事業（支出額）	14億4,394万円

土木費	公債費	教育費	総務費	民生費	市民1人当たりに使われるお金
市道の整備・補修など	市債の元金・利子の返済	各小中学校や公民館・図書館・スポーツ施設の運営など	税金の賦課、戸籍や住民記録の経費、広報紙の発行など	高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など	※令和6年3月31日現在人口（住民基本台帳）31,900人で算出 合計 598,746円
58,668円	56,191円	58,739円	136,939円	165,739円	
その他	議会費	商工費	農林水産業費	消防費	衛生費
災害復旧費など	議会の運営など	商工業支援や観光施設管理など	農林水産業の振興支援や農地の基盤整備など	消防団や防災施設の整備など	予防接種や各種検診、ごみ処理事業など
752円	4,911円	6,160円	26,882円	27,740円	56,025円